

令和7年度 学校経営方針

1 校 訓

創 造 開 拓

2 学校教育目標 人間性豊かで たくましく生きる 生徒の育成

小中一貫教育目標 主体的に学び たくましく生きる 児童生徒の育成

めざす生徒像

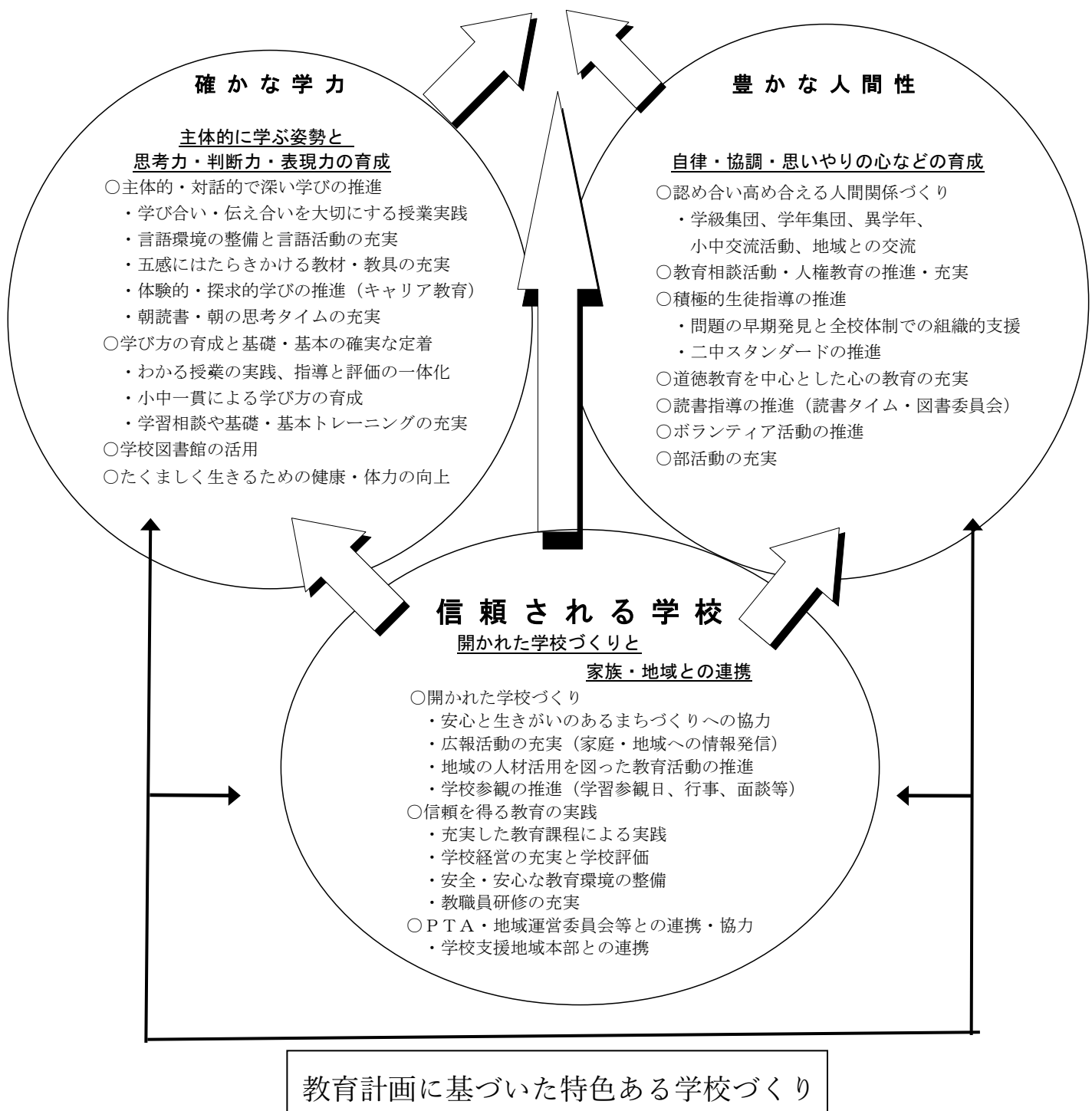
- 1 主体的に学習に取り組む生徒
- 2 自他のよさを認め、高め合おうとする生徒
- 3 心身ともに健康でたくましい生徒

めざす教職員像

- 明るく参画意識の高い教職員
- 一人一人の生徒を大切にする教職員
- 自ら研修・研鑽に努める教職員
- 生徒・保護者・地域から信頼される教職員

めざす学校像

『 いきいき さわやか 花と笑顔と歌声の響く 日本一の学校 』



3 学校経営の基本方針

- (1) 主体的に学習に取り組む生徒
各教科の目標や学びの本質に迫る授業展開を目指し、「わかる授業」を展開する。学び方のスキルを身に付けるため、指導方法の工夫改善を図る。
- (2) 自他のよさを認め、高め合おうとする生徒
他人との競争ではなく、自分のよさや強みを発見させる。様々な人々の多様性を認め、相手を尊重し、対話し、協働する意識を高め、集団の力を向上させる。
- (3) 心身ともに健康でたくましい生徒
教育相談活動を充実させ、生徒の多様性に寄り添いユニバーサルデザインの教育を目指す。
- (4) 開かれた学校
家庭との連絡等を密に行い、各種便りや学校行事等により、ともに生徒を育てていく意識を高める。また、学校支援地域本部との連携を図る。

○生徒同士の好ましい人間関係や生徒と教職員の信頼関係を確立し、生徒が安心して力を発揮できるようなあたたかな場を目指す。

○自分がかげがえのない一人の人間として大切にされ頼りにされていることを実感でき、失敗や挫折の大切さを受け入れて、自信をもって自立していける場を目指す。

○“わかる授業”を展開するとともに、わからないことをわからないと言え、学習につまずいたり試行錯誤したりすることが本当の学びとし、教え合い学び合える場を目指す。

基本方針

- (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえ、「生きる力・学びのその先へ」を支える「生きて働く知識技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」を育む。
- (2) 校訓である「創造・開拓」を意識し、生徒の主体的な活動を推進するよう支援する。
- (3) 小中一貫教育校の9年間の連続した学びにより一人一人の個性や能力を伸ばす教育活動を展開する。
- (4) 地域との連携、地域人材や組織の活用を通して、生徒の地域への帰属意識を高める。
- (5) 教職員の経営参画意識を高め、ボトムアップによる企画立案・運営を奨励する。

4 今年度の経営の重点

- (1) 認め合い高め合える人間関係づくり
 - ①学年・学級経営の充実
 - ②異学年交流の実施
 - ③小中交流の充実
 - ④地域交流・ボランティア活動の推進
- (2) 教育相談活動・人権教育の推進・充実
 - ①教育相談活動の充実、共通理解と対応
 - ②人権教育（いのちの安全教育を含む）の推進
 - ③道徳教育を中心とした心の教育の充実
 - ④ステップルームの充実
- (3) 学習指導の充実
 - ①主体的・対話的で深い学びの推進
 - ②持続可能な小中一貫教育の推進
 - ③学力向上アクションプランの推進
- (4) 家庭・地域との連携
 - ①PTA・学校支援地域本部等との連携
 - ②学校便りをはじめとする各種便り、HP等による情報発信
 - ③地域の中の学校を実現

